

花王

6年連続で「健康経営銘柄」に選定
4年連続で「健康経営優良法人
ホワイト500」にも認定

花王は、健康経営に優
れた上場企業として、経
済産業省・東京証券取引
所の「健康経営銘柄」に
6年連続で選定された。
あわせて、経済産業省よ
り優良な健康経営を実践
している法人として「健
康経営優良法人」ホワイ
ト500」に4年連続
で認定された。

同社は、中長期戦略「K
20」達成に向け、200
8年に発行した「花王グ
ループ健康宣言」のもと、
健康経営に取り組んでお
り、社内のヘルスケアの
知見や見える化技術を結
集した「Ka o G E N」を
推進してい



花王 ESGファイナンス・アワードで金賞を受賞

花王はこのほ
ど、環境省が主
催する「ESG
ファイナンス・
アワード」(環
境大臣賞)の環
境サステナブル
企業部門にて、
金賞を受賞した。
「ESGファ
イナンス・ア
ワード」は、ES
G金融の普及・
拡大に向け、環
境省が創設した
賞で、ESG金
融やグリーンフ
ロジェクトに関
して積極的に取
り組み、環境・
社会に優れたイ
業省の「健康経営優良法
人」に選定され、
「ホワイト500」に認定
された。

ライオン

4年連続で健康経営優良法人
「ホワイト500」に認定

ライオンは、
人々ホワイト500」
に4年連続で認定され
た。

具体的には、「定期的
な歯科健診受診への補助
を行い、かかりつけ歯科
医つくりを促進する『予
防歯科習慣の浸透』「自
発的な健診受診による
がん・大腸がん」の早
期発見を目指した補助」
「禁煙への取り組み」な
どの健康サポート」に
加え、「将来の健康リス
クを見える化する『個人
別健康情報システムの構
築』」にも取り組んで
いる。



製品を提供する企業の責
務として、製品のライフ
サイクル全体を通じた環
境負荷の低減に積極的
に取り組む中、2019年
4月にはESG戦略「K
ire i L i f e s t
で働く従業員一人ひと
りの健康が重要と考え、
2019年からは従業員の
健康意識の向上・自発
的な健康行動の実践を促
す取り組み「ライオン流
健康サポートGENKI
アクション」を展開し
ている。

いわゆる「多様性」

同性の友人と同居
どドイツに在住してい
た私は、4歳から欧州
で「もしかして」と好
奇や嫌悪・とってつけ
た寛容が入り混じった
視線を投げかけられる。
「ああ、これはマジ
ョリティがマイノリテ
ィに向ける視線だ」。
在りし日の記憶が蘇る。
出生直後より6年ほ
人種差別の概念
を知らなかった
が、その視線は
否応なしに私の心を貫
き形容しがたい孤独感
と劣等感をひしひしと
感じた。自分の存在を
根底から揺るがせた、
そんな出来事だった。
それから数十年、
様々なコミュニティに
属した私は幾度となく
マイノリティ側になり、
それ以上にマジョリテ
ィ側になった。あるコ
ミュニティ内である性
質に注視すれば私は前
者だったし、また別の
性質では後者に分類
された。そして、マジ
ョリティとマイノリテ
ィ、転じて差別層と被
差別層を分析する境界
線の曖昧さに気付いた。
人種の分類を例にと
る。黒色・白色・黄
色は3分類が一般的だ
が、他の分類も可能で
あり各分類の優先度合
いは計れないはずだ。
それでも同分類が重視
された起点について
は、社会心理学者・小
坂井敏昌氏の著書「神
の亡霊」を引用する。
「存在を根
底から揺る
がす視線」
など錯覚だ
ったのだ。

私のH & B日記

その起点は「西洋植
民地主義に都合がよか
った」ため、「征服し
た人々を異質な存在と
して把握し、欧州人と
の共通点ではなく、差
を注目して分類がな
された」ゆえだとい
う。

多様性と叫ばれる昨
今、様々な錯覚が入り
混じった価値観を持つ
我々が提唱する「多様
性」とは一体何だろう
か。もう一度己に問い
直したい。壮大な自戒
である。(高)



選定にあたっては、
こうした従業員の健康
保持・増進に努める姿
勢や、その実践を促す
べくアクションプラン
を構築した取り組みな
どが評価された。